



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月3日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 庄 慎司 TEL 03-5846-9010
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,702	7.4	1,618	997.5	1,811	766.7	1,365	—
2019年3月期第3四半期	36,035	△5.1	147	—	208	—	△66	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,727百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △365百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	177.14	—
2019年3月期第3四半期	△8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	65,495	28,251	43.1	3,687.20
2019年3月期	67,288	26,937	40.0	3,480.86

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,235百万円 2019年3月期 26,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	7.4	2,600	78.3	2,700	57.7	1,600	42.9	208.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,821,950株	2019年3月期	7,821,950株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	164,235株	2019年3月期	87,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,706,823株	2019年3月期3Q	7,734,352株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
地域別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では設備投資に弱さが見られたものの雇用・所得環境が引き続き好調を維持し、ユーロ圏でも個人消費が底堅く推移したことで、緩やかな景気回復基調が続きました。中国においては、米国との貿易摩擦の長期化により輸出が低迷し、2019年10-12月期の実質GDP成長率が前年同期比6.0%増にとどまるなど、景気の減速傾向が続きました。わが国経済は、個人消費や設備投資などが底堅く推移したものの、輸出に弱さが見られ、景気の足踏みが続きました。なお、世界経済全体として、米中貿易摩擦や中東情勢の緊迫化、英国のEU離脱問題など、依然として先行きの不透明感が残る状況となりました。

このような環境の中、当社グループは「光テクノロジーを通して豊かな社会と環境を創造する」という企業理念のもと、照明事業においては、施設照明・産業照明分野で、独自性のある商品提供と周辺事業を含めたトータルソリューションビジネスを推進し、光・環境事業においては、さまざまな「ひかり」の技術を応用することで環境試験関連分野、UV/EBキュア分野、殺菌関連分野の3つの事業を柱として展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,702百万円（前年同期は36,035百万円で7.4%の増加）、営業利益は1,618百万円（前年同期は147百万円で997.5%の増加）、経常利益は1,811百万円（前年同期は208百万円で766.7%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,365百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円で1,431百万円の改善）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<照明>

照明事業は、施設や使用環境に適した屋外用照明器具、高天井照明器具のバリエーションの増強を図り、これら新商品を軸とした照明設計提案を積極的に行いました。国内では、地方自治体などの照明改修事業に対し、ラインアップ豊富な道路用照明器具や省施工形の街路用照明器具での訴求を行い、売上高は好調に推移しました。また、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた施設建設およびインフラ整備需要の高まりを背景に、景観用照明器具や高天井照明器具の売上高も堅調に推移しました。一方、海外では、主に北米において、昨年実施した事業の合理化策の効果などにより、売上高は堅調に推移し、利益面での改善も進みました。

これらの結果、売上高は29,121百万円（前年同期は27,546百万円で5.7%の増加）、セグメント利益は2,801百万円（前年同期は1,560百万円で79.5%の増加）となりました。

<光・環境>

光・環境事業は、UV/EBキュア分野では、UV-LED照射器や小型電子線照射装置など新商品の拡販推進を行い、FPD関連や印刷機器関連を中心に売上高は堅調に推移しました。環境試験関連分野では、多様化するニーズに応えるべく複合環境試験装置などの新たな商品の訴求を図ったことで、売上高は前年同期並みに推移しました。

これらの結果、売上高は9,644百万円（前年同期は8,527百万円で13.1%の増加）、セグメント利益は219百万円（前年同期は74百万円で196.3%の増加）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2020年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見通しをはじめ、国内及び諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、2020年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細は、2020年2月3日付にて別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,774	11,973
受取手形及び売掛金	12,820	11,287
電子記録債権	2,107	2,191
商品及び製品	7,077	7,986
仕掛品	1,538	2,043
原材料及び貯蔵品	4,916	5,716
その他	653	876
貸倒引当金	△54	△46
流動資産合計	43,832	42,027
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,619	9,619
その他(純額)	7,605	7,326
有形固定資産合計	17,224	16,946
無形固定資産	1,015	795
投資その他の資産	5,214	5,727
固定資産合計	23,455	23,468
資産合計	67,288	65,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,932	7,031
電子記録債務	3,687	4,206
短期借入金	980	850
1年内返済予定の長期借入金	1,300	900
未払法人税等	358	365
賞与引当金	732	223
クレーム処理引当金	169	115
その他	3,224	2,989
流動負債合計	18,384	16,680
固定負債		
長期借入金	5,300	4,400
退職給付に係る負債	13,018	12,956
資産除去債務	62	131
その他	3,584	3,076
固定負債合計	21,966	20,563
負債合計	40,350	37,244

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	13,955	15,007
自己株式	△140	△240
株主資本合計	24,524	25,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,581	1,994
土地再評価差額金	2,552	2,552
為替換算調整勘定	△291	△486
退職給付に係る調整累計額	△1,445	△1,301
その他の包括利益累計額合計	2,396	2,758
非支配株主持分	16	16
純資産合計	26,937	28,251
負債純資産合計	67,288	65,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	36,035	38,702
売上原価	24,747	26,261
売上総利益	11,287	12,441
販売費及び一般管理費	11,140	10,822
営業利益	147	1,618
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	88	91
受取補償金	—	215
その他	126	67
営業外収益合計	218	377
営業外費用		
支払利息	93	75
持分法による投資損失	54	35
事務所移転関連費用	—	57
その他	8	16
営業外費用合計	156	185
経常利益	208	1,811
特別利益		
固定資産売却益	16	2
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	16	12
特別損失		
固定資産除売却損	7	4
投資有価証券評価損	10	0
特別損失合計	17	4
税金等調整前四半期純利益	207	1,819
法人税等	268	453
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60	1,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66	1,365

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60	1,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△374	412
為替換算調整勘定	△45	△157
退職給付に係る調整額	150	143
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	△37
その他の包括利益合計	△304	361
四半期包括利益	△365	1,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△371	1,726
非支配株主に係る四半期包括利益	5	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,531	8,503	36,035	—	36,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	24	39	△39	—
計	27,546	8,527	36,074	△39	36,035
セグメント利益	1,560	74	1,635	△1,487	147

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,487百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,101	9,601	38,702	—	38,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	43	63	△63	—
計	29,121	9,644	38,766	△63	38,702
セグメント利益	2,801	219	3,020	△1,402	1,618

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,402百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

地域別売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
31,450	2,898	1,507	179	36,035

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
33,680	3,127	1,672	223	38,702

以上